

第47回東北ボウリング選手権大会における 新型コロナウイルス感染症予防策について（お願い）

岩手県ボウリング連盟

当連盟では、今年度の主催・主管する大会・イベントにおいて、JBC 新型コロナウイルス感染症予防策ガイドライン（感染予防のための基本姿勢、感染予防策）に準じて適用します。

参加の皆様におかれましては、くれぐれも体調管理に努められ、当日万全にてご参加いただけるようご祈念申し上げます。

【感染予防のための基本姿勢】

体調がよくない場合（例：発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合）は、自主的に参加を見合わせてください。イベント参加前 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等に、ついて事務局まで報告してください。イベント前後のミーティング等においても、3つの密（密閉・密集・密接）を避けてください。

【参加者への感染予防策のお願い：共通】

<全般>

- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（最低 1m、最高 2m）の維持を確保する。
- 参加者はマスクを持参のうえ、会場内では原則として着用する。
- 他者との距離を 2m取れない場合は、お互いにマスクをする。
- 極力、顔に触れない。（触れる前には手指を消毒する）ドアノブや手すりなど極力触れない。

<入場時・館内移動>

- 間隔を空けて並ぶ。
- 初回入場時に所定の「新型コロナウイルス感染症リスクチェックリスト&同意書」を提出する。
- 入場口に設置したアルコール消毒液等で、手をこまめに消毒する。

<ボール登録時>

- 間隔を空けて並ぶ。
- 事前に郵送しますので必要事項を記入の上、「ボール検査合格証」と一緒に提出する。
係員が点検の上、競技中に監督に返却いたします。

<洗面所利用>

- 手洗いは30秒以上、石鹸を使って行う。
- ジェットタオル（風で水滴を吹き飛ばすもの）は使用を禁止とする。ペーパータオルもしくは各自のハンカチ・タオルを使用する。
- トイレの蓋を閉めて汚物を流す。

<投球中>

- 競技開始前の挨拶では、握手はしない。
- マスクを着用しての競技を認める。
- ハンドタッチは禁止とする（チームメンバー同士でも禁止）。
- アピールは拳手により行う（各ボックスにアピール用の旗「赤旗」は置かない）。
- こまめな水分補給を行う。
- スコアカードを記入する鉛筆・ペンは各自で用意する。
- 選手はコンソールモニターには触らない（次のゲームへ進む場合は審判員またはセンタースタッフを呼ぶ）。
- 応援者の声援は禁止する。
- 競技中に叫んだり、大声を出すのは禁止する。
- 他選手の競技用具には触れない（スペアボールを渡すなど）。
- 競技終了後は必ず手洗いをし、発生したゴミは必ず各自で処分する。

<開会式>

- ボウラースベンチ内の選手、役員はマスクを着用する。
- ボウリングシューズは各自のものを使用する。

<表彰式>

- オフィシャルカメラマン以外の記念撮影は禁止とする（HP等で写真・映像を公開する）。
- ボウリングシューズは各自のものを使用する。
- 選手は基本的にマスクを着用する（写真撮影時のみ外す）。
- ※ プレゼンターはマスクを着用する。メダルは選手の首にかけずに手渡し（受け取った選手が各自で首にかける）、握手はしない。